

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム 平成30年度第1回企画運営委員会議事録(案)

1. 開催日時

平成30年10月30日(火) 14:00～16:00

2. 開催場所

熊本県庁本館8階801会議室

3. 開会あいさつ

・滝川委員長より、フォーラムの立上げ目的と展開について2年目に向かってより一層活動の活発化に繋がるよう協力をお願いの挨拶があった。

・崎元理事長より、情報発信の元になるHPについて、今後も充実を図るとともに、関係各団体HPとのネットワークを構築することの提案があった。また、「八代海再生へのシナリオ」の出版物に対してWEBによる公開の可能性についての検討提案があった。

4. 議事次第

《審議事項》

- (1) 平成30年度 事業計画・予算変更(案)について
- (2) 平成30年度 通常総会議題(案)

《報告事項》

- (1) プロジェクトチーム活動状況について
 - ① 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム
 - ② 活動PR戦略プロジェクトチーム
- (2) ホームページの公開状況、学習館ご協力について
- (3) その他
 - ① 「八代海再生へのシナリオ」出版物の概要
 - ② 今後の活動について
 - ③ その他

資料1：平成30年度事業計画及び予算変更(案)

資料2：平成30年度熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム通常総会議事次第(案)

資料3：ホームページの公開状況

5. 出席者

(委員等) 崎元議長、滝川委員長、上久保委員、福崎委員、中川代理、後藤代理、橋本委員、武宮委員、中川委員、米田委員、渡辺委員、舛元委員、佐藤委員、舛本委員、山下代理、川岸委員、田代監事、城戸監事

(随員) 馬場氏、福元氏、金丸氏、本嶋氏、野田氏、大和氏、中川氏、田村氏

(シナリオ作成WG) 後藤氏、岩井氏、加世田氏
(事務局) 中田、西本、平、荒川、高木

6. 議事

《審議事項》

- (1) 平成30年度 事業計画・予算変更(案)について
 - ・事務局より平成30年度事業計画・予算変更について説明があり承認された。
- (2) 平成30年度 通常総会議題(案)について
 - ・事務局より11月予定の通常総会議題(案)について説明され、提案通り承認された。

《報告事項》

- (1) プロジェクトチーム活動報告について
 - 1) 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム
 - ・川岸PT長より平成30年度活動状況の報告と、平成31年度の活動計画について説明された。(資料1、4P参照)
 - ・橋本委員より、住民関係者への周知の内容、その時期の質問があった。また、説明に際し、科学的根拠を踏まえた説明の実施が依頼された。
 - ・川岸PT長より、まずは関係市町村内の行政・住民の中から再生への活動を展開されている方々から始めると回答があった。
 - ・滝川委員長より、周知に際して誤った情報は流さず、関係者全員で海をよくするための議論を続けることを目的として進めていくとの意見があった。
 - 2) 活動PR戦略プロジェクトチームについて
 - ・上久保PT長より平成30年度活動状況の報告と、平成30年度の活動計画について説明があった。(資料1、5P参照)
- (3) ホームページの公開状況と学習館協力のお願ひ。(資料4参照)
 - ・西本事務局より、2017年7月3日からHPで公開され2018年10月18日までのカウント数等について説明があった。(資料3、参照)
 - ・滝川委員長より、HPは大きな情報発信源であり、積極的に取り組んでいただき感謝している。企画運営委員の機関もHPにリンクしてもらいたいとの願ひがあった。

7. その他

- (1) 「八代海再生へのシナリオ」出版物の概要
 - ・編著者の一人である川岸氏より出版物の概要について説明があった。
 - ・橋本委員より、概要の中にある“再生の視点”の全体目標で「環境特性に応じた地域対応の生物多様性のある海域環境」とあるが、現状として生物多様性が八代海で損なわれているとの認識のもとで目標が設定されているのかの質問があった。
 - ・滝川委員長より、最終的にどのような海の環境を目標とするのか、或いは地域全体

の目標とするのかについて、全体を俯瞰的にバランス良く観ていきたいと回答があった。このようなことを議論しあいみんなの共通認識でゴールさせることが重要であると説明があった。

- ・ 田代監事より、市民及び関係者含めて海の再生に行動を移すときに、この本の内容からさらに発展し、より良い再生に寄与することを期待しているとの意見があった。
- ・ 滝川委員長より、海域ごとの特性を科学的根拠に基づいて整理し、それをベースに議論していき最終的には、住民の総意で再生を展開していくことが一番良いと考えたので、地元発信の思いのもとに書いているとの説明があった。

(2) 今後の活動について

事務局より次の3点について協力の依頼があった。

- ・ 来年に向けてプレ干潟フェスタ活動の企画委員会を行う可能性あり。
- ・ 平成30年度第1回通常総会の出席を期日までに返信のお願い。
- ・ 通常総会の進行役を熊本県、当日配布資料のチェックをシナリオワーキンググループメンバーへお願いがあった。

(3) その他

- ・ 国交省より、東京のTV局よりマイクロプラスチックについて問い合わせがきて返答に困っている。底質とか生物間での分析とか検討されている機関の照会があった。
- ・ 川岸PT長より、九州大学応用化学研究所が国内の研究のとりまとめを担当されているが八代・有明海が入っていたか定かではないので後程確認して連絡したいとの回答があった。
- ・ 滝川委員長より、出版物では、漂流漂着物ゴミが対象で、環境省で調査した記録を掲載しているが、懸念されるものも少し存在する。それ以外にも芳香族類、その他影響を及ぼすものも含まれている。今回の問い合わせのように、漂流漂着物への興味を持っていただけることが重要であるとの意見があった。

以上